



教育活動	教育目標に基づいた教育計画の編成と実施のための教職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 宗教教育の方針に沿い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。</li> <li>◆ 教育の分野・家庭に添い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。</li> <li>◆ クラス・学年の活動の中で、社会性を育むよう指導がなされている。</li> <li>◆ 心をこめた挨拶ができるよう、自らが手本となり十分な指導がされている。</li> <li>◆ 子どもの想像力や行動力を豊かに育むための指導を積極的に行なっている</li> </ul>	A
	発達段階に則した適切な幼児の環境理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1人ひとりの子どもを大切にし、発達段階に応じた適切な指導、援助を徹底している。</li> <li>◆ 自主的、主体的に取り組めるよう、環境に十分配慮を行なっている。</li> <li>◆ 身近な自然や社会と関わり、豊かな情操が育めるよう環境に十分配慮している。</li> </ul>	A
	幼稚園と小学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 就学に向け、学校での教育内容や生活について情報を収集し、適切かつ十分な指導を行なっている。</li> <li>◆ 配慮の必要な子どもについて、必要な情報を小学校と共有し十分な連携が行われている。</li> <li>◆ スムーズな小学校入学のために、幼保小で連携し接続期カリキュラムに取り組んでいる。</li> <li>◆ 地元の小学生との交流ができた。</li> </ul>	A
	教員の資質向上、研究、研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 園内研修に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。</li> <li>◆ 外部の研修会や研究会（リモート研修含む）に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。</li> <li>◆ キリスト教精神に基づく奉仕と感謝のところで他の職員と協力して前向きに日々の職務にあたっている。</li> </ul>	B

#### IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>【総合評価】</p> <p>A</p>	<p>「子どもたち主体の保育」の実現を目指し、ねらいや目的を明確にして様々な教育活動の改善に取り組んできた。外部人材の招聘を行い、園内研究授業・研究会を行うなど、教育の充実を図った。また、モンテッソーリ教育の研修や様々な研修会に参加し、教員の質の向上を図った。保育内容・行事・保育教諭の子どもへの関わり方等、全てについて高評価を頂き、日頃の努力の成果が表れた。</p> <p>また、ラインアカウントを開設し子育て支援の案内等に力を入れ、様々な活動を行った。好評で参加者が増えた。</p>
------------------------	---

#### V. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 子どもの学びを更に質の高いものにしていくために、子どもの声を拾い、子どもが興味関心のある創造的な教育活動を充実させていく必要がある。</li> <li>◆ 預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか子どもの様子をお伝えできない。安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、園でのお子様の様子を伝える方法を工夫していく必要がある。</li> <li>◆ 幼稚園で行っている教育活動等の意味やねらいを保護者にも理解していただけるように丁寧に伝えていく。</li> <li>◆ 教職員間の伝達事項、共通理解、情報共有を徹底し、連携して保育にあたる。</li> <li>◆ 今年度は新入園児が大幅に増加した。来年度は様々な取組が功を奏し、新入園児が例年並みに回復した。今後少子化が進む中、園児数を保持していくために魅力ある幼稚園教育・運営が課題となっていく。</li> <li>◆ 職員の資質向上のための研修へ積極的に参加していくように、職員の意識改革が課題である。</li> </ul>
---

## VI. 学校評価委員会の評価

総合的に見ておおむね達成できているという評価を得た。その他下記の様な意見を頂いた。

- ・幼稚園でたくさんの行事や活動が行われて、子どもたちの体験が豊かである。季節を感じる行事が素晴らしい。昔からある季節の行事を取り入れてくれていて、ありがたい。
- ・子どもたちの素敵な姿が見られた。「年長さんってすごいな」と感心した。小学校でも今もっている力を発揮できるように取り組んでいきたい。
- ・行事に対して、保護者も先生方もアンケートの評価が高い。子どもたちも先生方も達成感を味わっている。
- ・どの項目も高評価であり、驚いた。
- ・子どもたちの聴く姿勢がとても良い。集中して話を聴く姿や少々抵抗のある課題にも楽しそうに取り組む姿に保育園との違いを感じた。
- ・園の教育理念がしっかりとしている。社会の変化に対応しながら、子どもに必要なことに取り組んでいる。
- ・練習の過程を「てのりの」で配信したことがすばらしい。結果もだが、過程が大事。本番に至るまで子どもが苦勞していく姿が大事。
- ・「あいさつ」が昨年度よりも評価が上がっている。保護者会と共に力を入れた結果の表れ。よくやったと思う。
- ・小さい頃の父親の子どもへの接し方がとても大事だと改めて感じている。最近は父親も行事に参加することが増え、良いことだと思う。
- ・先生方の熱意と子ども一人ひとりを大切にするという思いが伝わってくる。
- ・先生方が子どもたちのために苦勞していることは子どもたちにも伝わる。
- ・保護者会もPTAも難しい。時代の流れに合わせて考えていくことが大切。子どもたちのために楽しい活動ができたらいいなと思う。
- ・保護者から沢山の意見があり驚いた。それだけ、保護者の園に対する思いが強いと感じた。
- ・保護者が参加する園行事が多いという意見があった。入園前に保護者にしっかりと伝えると良いと思う。保育園は働く保護者が多いから、幼稚園に比べて保護者が参加する行事は少ない。  
今は、子育ても仕事も大切。年間行事計画を見て、上手に休みをきちんととって保護者はやっている。
- ・保護者からいただいた意見や要望を一つ一つ大切に回答も丁寧なされていて、誠意を感じた。
- ・幼稚園のイメージが昔から敷居が高いと思っている人が多いのでは。決して敷居は高いわけではないので、ちのせいばい幼稚園の良さが多くの人に伝わると良いと願っている。

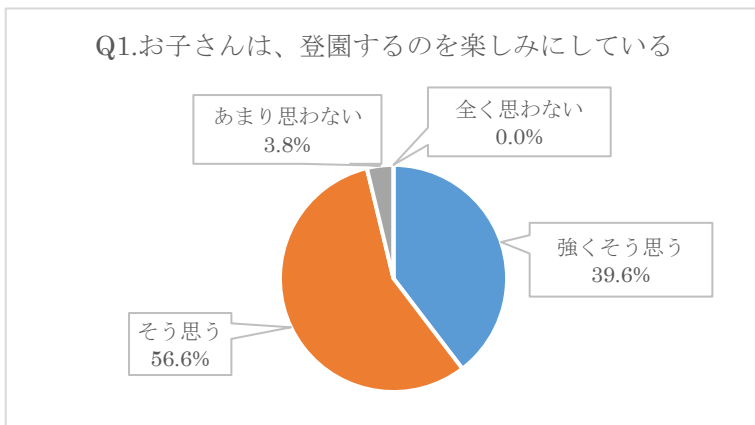
## VII. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

## VIII. 保護者アンケート集計結果

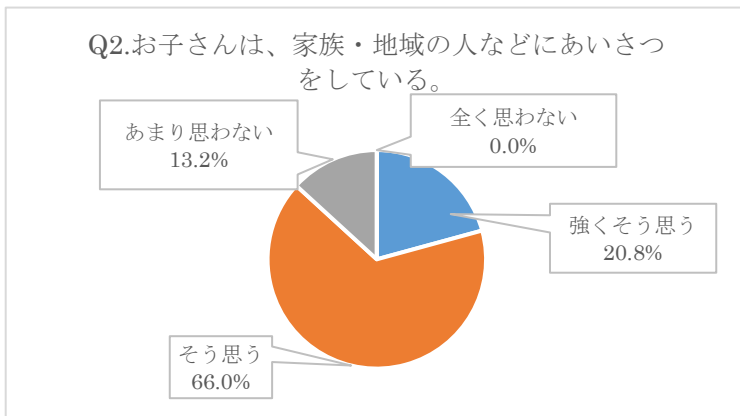
### 1 アンケート集計と結果

#### (1)「幼稚園に行くことが楽しい」について



保護者が肯定的に回答している割合は、96.2%。今年度は強くそう思うが10%も増加した。概ね良好は結果とすることができるが、否定的な回答をしている3.8パーセント(園児2人)についても、しっかりと受け止めていく必要がある。背景には、遊び、友だちや先生との関係、園生活における様々な要因が考えられるので、園児の日常の様子、感じ方や考え方を把握し子ども理解を深め、改善を図っていく必要がある。今後も全ての園児にとって、園が楽しく、期待感をもって登園することのできる幼稚園を目指し取り組んでいきたい。

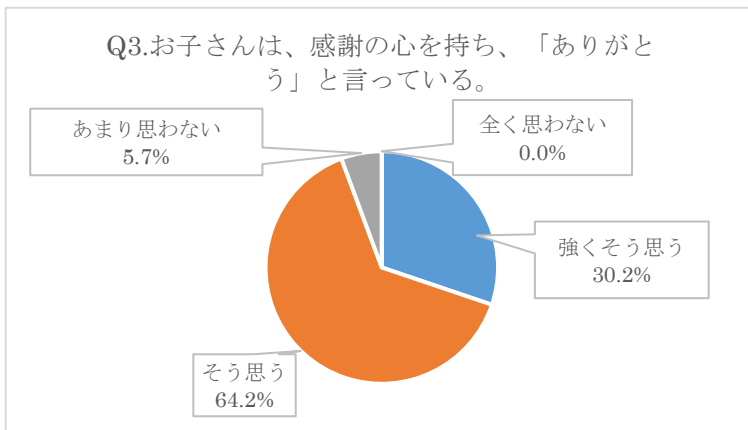
## (2) 教育目標「あいさつ」について



保護者が肯定的に回答している割合は86.8%であった。昨年度より、わずかに増えた。

今後も教職員から進んであいさつをし、友だち同士でも、友だちのお父さんお母さんにもあいさつができるように取り組んでいきたい。「あまり思わない」と感じている保護者の方も、よくお子さんを見ていて、少しでもよい挨拶ができた時を逃がさずに褒めていきましょう。

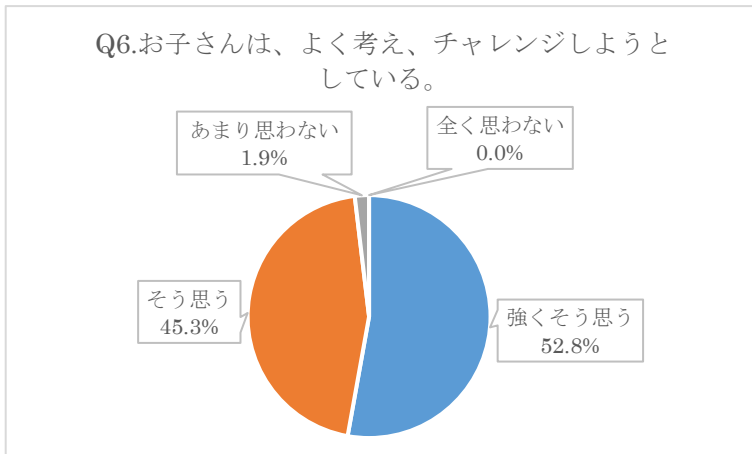
## (3) 教育目標「感謝の心をわすれずに」について



A、Bと肯定的に回答している割合は94.4%であった。昨年度とはほぼ同じであった。

教職員も感謝の心を忘れずに、子どもたちのお手本をなるように取り組んでいきたい。

## (4) 教育目標「よく考え チャレンジしようとしている」について

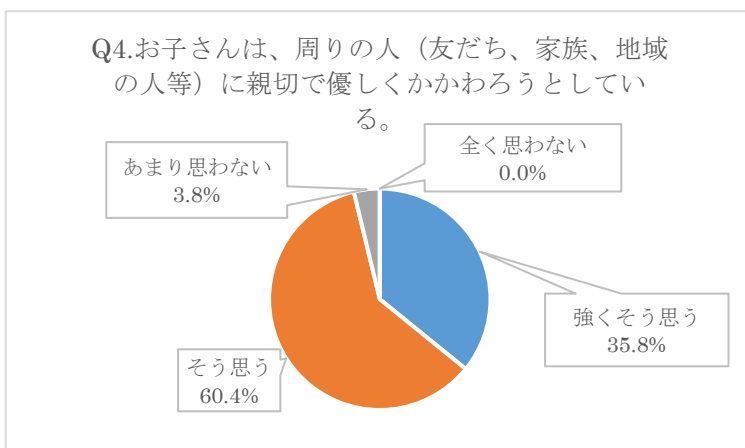


肯定的に回答している割合は97.1%であった。「強くそう思う」という回答が増えた。

園の生活の中では、新しいことや難しいことにも挑戦していこうとしている子どもたちの姿がたくさん見られる。そんな子どもたちを支え応援して下さるご家庭にも感謝している。

子どもたちのそんな姿を家庭にもしっかりと伝えていく必要がある。また、子どもたちの現状より少し高い課題、難しいことにも挑戦する、といったことに夢中になって取り組める学びを積み重ねていきたい。

## 5) 教育目標「親切でやさしい」について



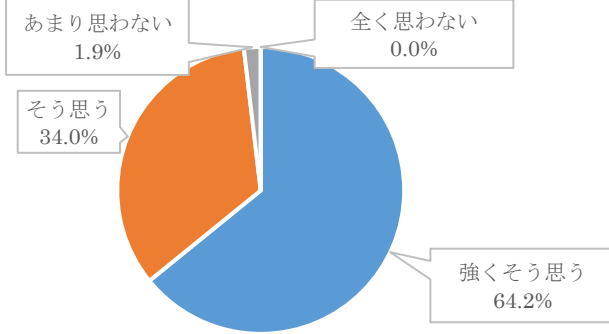
肯定的に回答している割合は96.2%であった。

本園では日常的な園生活の中で、縦割り活動・横割り活動、地域の方々との交流等、様々な取り組みをしている。また、保護者の皆様も「親切で優しい思いやりのある子ども」に育てたいと多くの方が考えている。両両者の取り組みが、よい結果に繋がっていると考える。

あまり思わないと回答した2名については、保護者の話を伺い個別に対応していきたい。

## (6) モンテッソーリ教育「おしごと」について

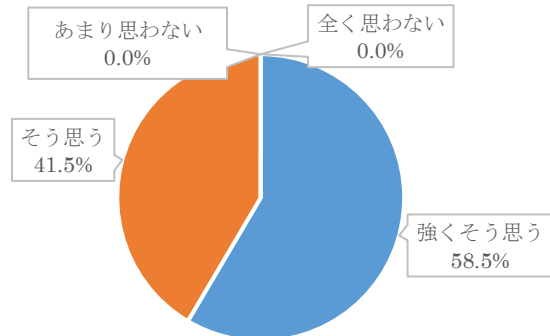
Q5.お子さんは、「おしごと」を楽しんでいる。



肯定的に回答している割合は98.2%であった。子どもたちが「おしごと」を楽しんでいることが伺える。集中して取り組み力も育ってきている。子どもの興味・発達段階・適時性をつかみ、その子にあった「おしごと」を提示したり、先生方もモンテッソーリ教育についての研修を積んだりし、「自分で選び、考え、工夫し、やり遂げる力」を伸ばしていきたい。また、「そう思わない」と回答したご家庭のお子さんについては、しっかりと状況を把握し、対応をしていきたい。

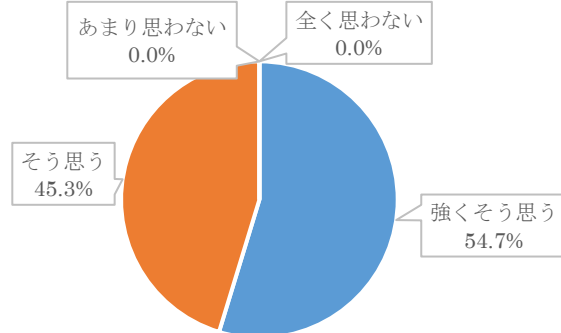
## (7) (8) 「体を動かし遊んでいる」「運動遊びを大切にし、援助している」について

Q7.お子さんは、体を動かして遊んでいる。



Q7 は肯定的な回答は100%であった。強くそう思うが58.5%と大幅に増加した。小中学校の全国体力運動能力調査では、運動する子と運動しない子の二極化が指摘されている。小さいうちから、遊びの中で体を動かす楽しさを体験できるよう、今後も努めていきたい。

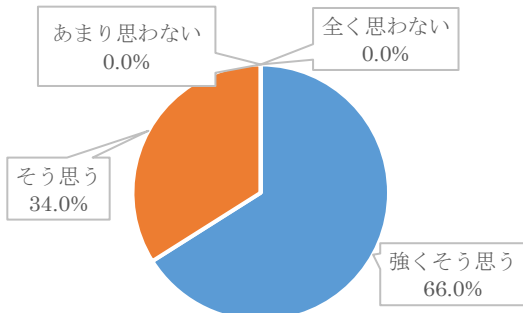
Q8.園では、子どもの運動遊びを大切にし、健康な身体づくりを援助している。



Q8 では、肯定的な回答は100%であった。体操参観や保育園参観を通して、幼稚園の取り組みを理解していただいた結果と考える。本園では、外部講師を招いての体操指導や毎朝のサーキット遊び等を取り入れ、園児は比較的体を動かし遊んでいるが、個々の現状を見直し、子どもが遊びに夢中になる中で、楽しく体を動かせるように改善を図っていききたいと考える。

## 9 「ひとり一人の子どもを大切にしようとしている」について

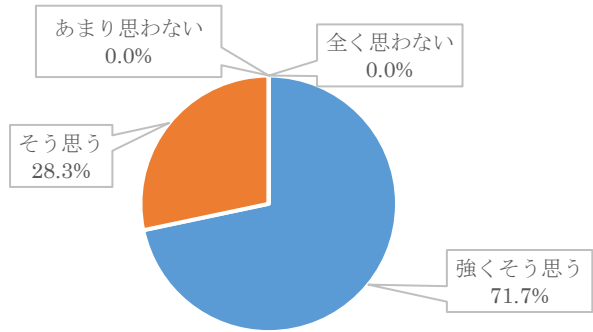
Q9.園では一人ひとりの子どもを大切にしようとしていることが、感じられる。



一昨年度、昨年度に続き、今年度も肯定的な回答を100%いただき、大変感謝している。また「強くそう思う」が66.0%であった。今後もひとり一人をよく見て、その子の思いや願いを汲み取り、その子の個性を伸ばせるような関わりを続けていきたい。

## 10 園の行事について

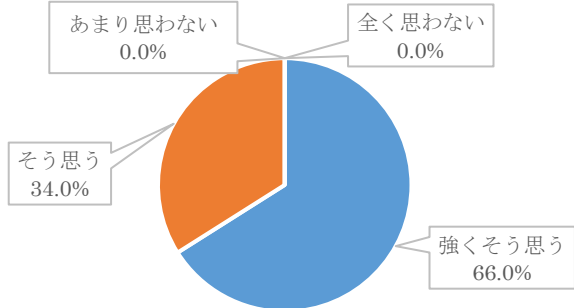
Q10.園の行事は楽しく、子どもの成長に役立っている。



一昨年度、昨年度に続き、肯定的な回答は100%であった。強くそう思うという回答も同程度である。保護者の皆様のご支援・ご協力を頂き、行事を通して、子どもたちの大きな成長が見られた。今後も、子どもたちの成長のために何を大切にするかを考え、子どもたち・保護者・保育者が共に満足できるようなものとなるよう創意工夫をしていきたい。

## 11 「よい習慣や態度が身につくように取り組んでいる」について

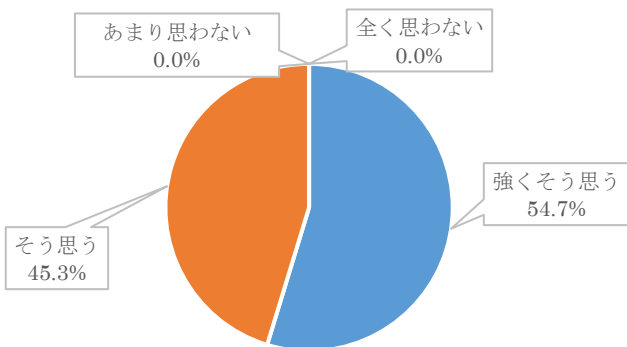
Q11.園では、子どもの良い習慣や態度が身につくよう取り組んでいる



一昨年度、昨年度に続き、肯定的な回答は100%であった。保護者の皆様も「よい習慣や態度が身につくようにしたい」と願っている。本園と保護者の両者の取り組みが、よい結果に繋がっていると考える。

## 12 「教職員は協力し合っている」について

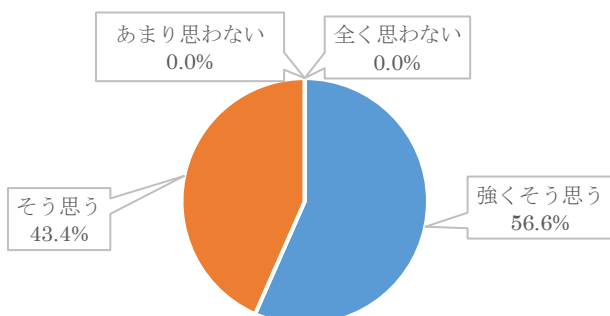
Q12.教職員は協力し合って保育にあたっている。



肯定的な回答は100%であった。保護者の皆様の温かな評価に感謝しています。これからも協力しあって保育にあたっていきたい。

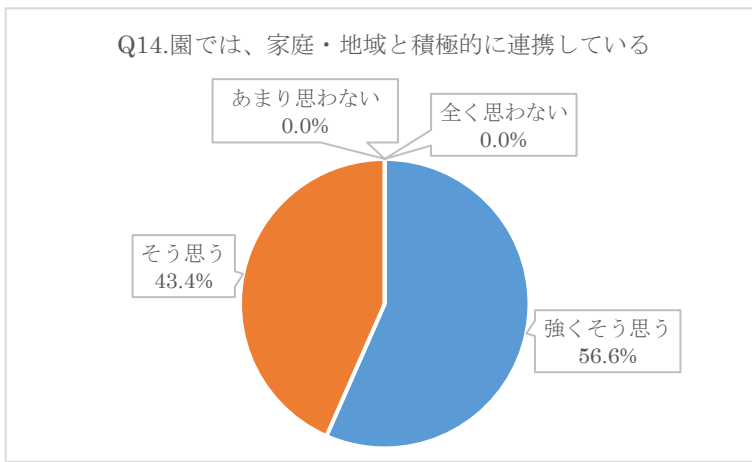
## 13 園では、子どもの様子を家庭に伝え、相互理解に努めている。

Q13.園では、園便り「なかよし」、クラスだより、学年便り、てのりの、担任からの話等で、こどもの様子を家庭に伝え、相互理解に努めている。



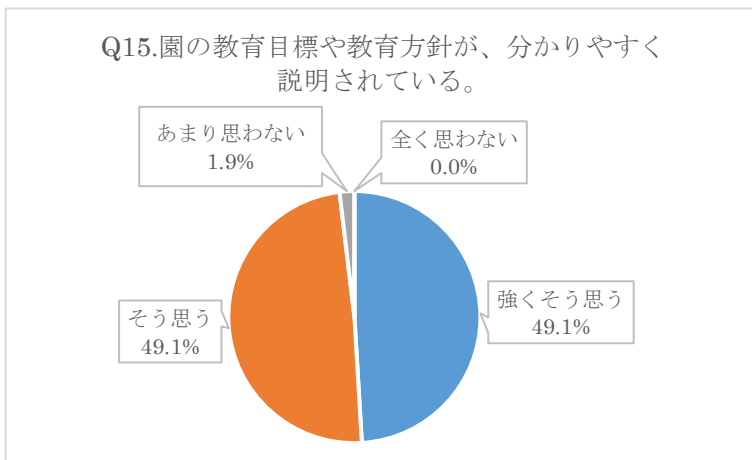
肯定的な回答は100%であった。昨年度から、園では課題として捉え、改善に取り組んできた。園だより「なかよし」、クラスだより、学年だより、パステル Apps、電話連絡、個人懇談等を利用し、出来る限り努めている。しかし、預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか様子をお話できない現状がある。また、園でのお子様の様子を知っていただくことが十分ではなかったと考えている。保護者の皆様に安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、今後も相互理解が図れるように努めていきたい。

## 14 園では、家庭・地域と積極的に連携している。



肯定的な回答は100%であった。保護者・地域の皆様にもご支援・ご協力をいただき感謝している。地域に開かれた園を目指し取り組んできているが、地域に根付いている公立の園と比べると活動は少なく感じられるかもしれない。私立の幼稚園であること、また多方面の地域から在園している園児が多い中で、どのような活動を行うことが地域に開かれた園となるのかは、今後も引き続き考えていきたい。仲町区との皆様との交流(畑作り、焼き芋)、紙芝居・語りボランティアの方々との交流、また子育て支援には引き続き、積極的に取り組んでいきたい。

## 15 園の教育目標や教育方針が、分かりやすく説明されている。



肯定的な回答は98.2%であった。更に、教育目標や方針を理解して頂けるような取り組みを進めていきたい。

## II 令和7年度 保護者アンケート記述内容より

### 1 本園の子どもの良さは、どんなことですか？

#### 《宗教教育に関わって》

- お祈りや先生方の関わりによって、感謝の心が少しずつ育っているのかなと感じます。
- 神様を身近に感じることで、優しさを育むことができる。
- マリア様の心のように、優しい心を持つ子が多い。

#### 《縦割りクラス編成に関わって》

- 縦割りで自然と教わったり教えたりする環境、年齢関係なく交われるところ。それだけでなく、同じ年の事ともしっかり関わるところが素晴らしいと思います。
- 年齢の違う友だちとも自然に関わり、思いやりをもって接している姿が多く見られます。
- 縦割りクラスのためか、上級生が下級生を支えて、その経験をした子どもが、上級生になった時に今度は自分がしてもらったように下級生を支える。そんな成長が出来る。子ども達が優しく思いやりのある良さがあると思います。
- 縦割りで上の子に助けてもらい、自分も小さな子を助けたいという優しい気持ちが身についていると思います。
- 縦割り学級の中で、年上の子が年下の子に優しく関わっている姿が印象的です。
- 縦割りクラスのため、自然と下の子には優しく接したり気にかけているようです。また、上の子に甘えられるところも素敵な環境だなと感じています。

- 縦割りクラスのため、他の学年との交流があり、色々な年齢層と関われるため、幼稚園以外でも他学年と和気あいあいと関わりを持つことができる。
- 縦割りのクラス編成で、上の学年や下の学年の友達とも関わる事が多く、在園中も卒園後も縁がある事が良いと思います。
- 縦割りクラスと学年別の活動があり、いろんな友達と関わることに慣れていると感じます。
- 縦割り保育のため、年齢関係なく関わり気にし合える環境があること。
- 元気いっぱい、縦割りのおかげか年齢の違う子とも仲良く遊べる場所。
- 上の学年の子が下の学年の子を自然とお世話してくれる場所。
- 縦割りクラスなので、自然と下の子のお世話する力が身につく。

#### 《モンテッソーリ教育を通じて》

- モンテッソーリ教具を使ってのお仕事は、ほかの保育園では経験できないものだと思います。AさんからDさんまでみんなが静かにお仕事に打ち込んでいる姿はせいぼでしか見ることができない素晴らしいものだと思います。お仕事の時間のおかげで好きなものに集中して取り組む姿勢が身についたと思います。
- お仕事を通して、集中力と創造力が養われる。
- 毎日のお仕事のお陰で、机での取り組みや自分で決めてチャレンジする精神が磨かれている。
- 他の園の事は良く分かりませんが、お仕事や給食後の工作を通じて、集中力やチャレンジ精神が育まれていると感じます。
- お仕事を通して、集中力や最後までやりきる事、考える力など精神面で成長できる。

#### 《優しく、思いやりのあること》

- 皆思いやりの気持ちが育っていると思います。
- 自分だけじゃなくて周りのお友だちのことを考えられる。
- 穏やかで相手を気遣えること
- 自然と助け合える場所。
- 元気で明るくて素直で、お友達思いだと思います。
- 素直、優しい心を持って思いやりのある行動ができる、礼儀正しい、品がある、考える力を持っている。
- みんな優しい子です。お迎えの時に私が誰のお母さんか分かって「〇〇くんね！今日ね～」と話しかけてくれてとても嬉しかったことがあります。
- 保護者にも積極的に声をかけてきてくる。
- 周りの友達のことを気にかけて大事にしている場所。
- 優しい子どもが多いと思います。
- 優しく素直でのびのびしている

#### 《あいさつやお礼が言えること》

- よく挨拶をしてくれる場所、友達通しだけでなく親の顔も覚えて挨拶してくれます。
- 挨拶をしっかりしていると感じます。
- 感謝をつたえられる場所や、親切な場所

#### 《落ち着いている、話が聞ける》

- 落ち着いている。(複数)
- お話をよく聞いている。

#### 《個性を伸ばすことに関わって》

- 一人ひとり自分の興味ある事に取り組み、楽しんでいる事。

- 学ぼう、チャレンジしようという姿勢。
- いろんなことにチャレンジしている
- いろいろなことに挑戦する気持ちとやってみたいと思う気持ちがあると思います。
- 子供たちの個性を大切にしてもらっているの、ひとりひとり輝いている。

#### 《その他》

- 元気、素直
- 元気で明るく声をかけてくれるところ
- 元気や笑顔がいっぱいなところ
- 先生方が子供たちをよく見てくださり、英語や体操などもあるところ

体を使うこと、頭を使うことどちらもバランスよく伸ばして頂いていると感じます。D組さんに入ってから娘の成長が素晴らしく、体つきや遊び、発語など、目を見張る成長をしています！

いつも本当にありがとうございます！

○たくさんよさが挙げられている。よさとして多く挙げられているのは、「異年齢の子どもたちが仲良くしようとしている」「優しく思いやりがある」「モンテッソーリ教育を通して集中して取り組めるようになった」であった。保護者の皆様・園の両者の願いや連携した取り組みが、よい姿に繋がり、よさとして評価してくださっている。これからも園の方針を保護者に伝え、家庭や地域と共に、子ども一人一人を大切に子どもが主体的に取り組めるようサポートをしながら、本園の子どものよさを伸ばし続けていかれるように努めていきたい。

○今年度はお友達のお家の人にも挨拶ができるように、機会あるごとに働きかけてきた。保護者会でもスローガンに掲げ、保護者の皆様が自ら園児や園児の保護者にも挨拶をしてくださったお陰で、園児同士、園児の親同士が挨拶をする姿が増えてきた。ありがとうございました。

## 2 本園の子どもの課題は、どんなことですか？

### 《子ども同士の繋がりについて》

- 小学校に入ると、他の園から入ってくる子が多いので、少しおとなしくなってしまうところ。

### 《保育に関わって》

○たくましさ

- 大胆さ(?)
- 悪く言うと温室育ちすぎて、幼稚園にいる間は良いが小学校に上がり色々な子供や親御さんがいる中で、たくましさを持って生きていけるかが課題
- 今まで息子はテンションが高く賑やかな方だと思っていましたが、就学前健診に行った際に周りの子達の賑やかさに親子共に圧倒されて、親としては少し心配になりました。

○自然との触れあい

- 街中という立地、園庭も限られたスペースで、以前は自然との戯れが少ないかなと思いましたが、さつまいも畑に加えて学年ごとの畑、特に今年は先生が教室前に水稻や大豆などを育てて収穫し食べるころまでを体験させてくださるなど、自然について学べる機会を工夫して下さっていました。
- 春の遠足だけで遠足だけでなく、自然と触れ合う機会がもう少し多いとなお良い。バスでの遠足などもあったら。

○運動の習慣

### 《その他》

- 縦割りクラスであることの良さでもあるのですが、下級生の手本となるような上級生でなくてはならないと思います。何でも真似をしてしまうので、それは良いところも悪いところも真似てしまいます。手本となるように成長して行ってほしいです。
- 特にありません（複数）。
- 今のところ、思い当たることはありません。（複数）
- 現時点では特に大きな課題は感じていません。

○課題としては、人との関わりやコミュニケーションについて挙げられている。多くの人と関わる力をつけていく必要がある。小学校や他園・すわせいぼ幼稚園等との交流活動を取り入れていきたい。

また、幼保小連携の中で、本園の子どもたちの具体的な良さ、卒園生が小学校でも生き生きと活躍している姿を積極的に保護者にも発信していくことができるとよい。

○「あそびの質を深める」「自然との関わり」「体を使うこと」等、保育の質を更に高められるよう、教職員も研修し研鑽に努めたい。

○全教職員で子どもたちを見守り育てているという意識をもち、学年別での活動や様子を担任の先生も把握し、またクラスでの活動や様子についても学年担当の先生も把握できるよう、情報共有し子どもの保育に生かしていきたい。

### 3 どのような子どもに成長してほしいと願っていますか？

#### 《優しく 思いやりのある子どもに》

- 優しい気持ちを大事にしてほしい
- 穏やかで他者に優しい。
- 他人に寄り添える優しさを持って欲しい。
- 優しい心を持ち、心身ともに健康で、賢く、逞しく成長してほしい
- お友達を思いやり、優しい子になってほしいと願っています。
- どんな人にでも優しさを持って接することができる人になってほしい。
- 他人を思いやる気持ちを持てる子になって欲しいと願います。
- 子どもにとって初めての集団生活の場、やはり相手を思いやれる優しい心を持てるようにと思います。
- 七夕の短冊や絵馬の願い事に「せんそうがない平和なせかいになりますように」など自分のことではない願いを書いてきたのには驚いた。  
そのまま、他者を思いやる気持ちをもった人になってほしい。
- 明るく素直な優しい子に成長してほしいです
- 思いやりの心を大切に、探究心を持ちのびのびと楽しく過ごしてほしい
- 元気いっぱい・笑顔いっぱい・友だちと助け合える・思いやりのある子ども

#### 《多様性を認め合える子どもに》

- みんな違いを認め合える強さと優しい子に成長してほしいと思います。

#### 《自分も、まわりの人も大切にできる子どもに》

- 自分や周りの人を大切にできる人（先日の講演会でとても良く学ばせていただきました）
- 相手のことも自分のことも大切にできる、思いやりのある子供に成長してくれたら嬉しいと思っています。
- 自分自身と周りの人達を大切にできる子になってほしいです。
- 自分を愛せる人、他者を愛せる人。

- 周りのひとを大切にできるように

#### 《自己肯定感を持てる子どもに》

- 人に優しく、自己肯定感を持てる子どもに成長して欲しい。

#### 《個性を伸ばして 自分らしく》

- 優しい気持ちを持って、自分らしく育って行って欲しいです。
- 他者への優しさを忘れず、自分らしくのびのびと成長してほしいと願っています。
- 好奇心を持って色々なことに興味を広げられるといいなと思います。
- モンテッソーリ教育を通じて、自分の良いところ、得意なところ、特性を上手に活かしてほしいと思います。  
一見短所に見える特性も使い方によっては大きな長所になりうると思います。

#### 《自分で考えられる子どもに》

- 自分で考え、行動する力を身につけてほしいです。

#### 《自分の考えを伝えられる子どもに》

- 自分の意見をきちんと伝えられ、人の考え意見も聴けるような子になってほしい。
- 自分の意見をしっかり持ち表現できる子

#### 《チャレンジ・挑戦する子どもに》

- 挑戦することを恐れずにできる
- 何にでも挑戦出来る子どもで居てほしいです。
- 自分で考えチャレンジし、日々楽しく成長して欲しいです。
- やはりいろいろなことに挑戦したり、やりたいと言う気持ちを持ったり、チャレンジする気持ちがある子に成長してもらいたいと思います。
- 失敗を恐れずに、なにごとにもチャレンジできる子に育ててほしいです。
- 自信を持って自分を表現して、色々な事に挑戦して欲しい。

#### 《感謝のできる子どもに》

- 感謝の気持ちを持ち、それを伝えられる子に成長してほしいです。
- 感謝の気持ちを忘れずに成長して行ってほしいです。
- 感謝できる人

#### 《その他》

- 1年を通して成長することを願っています。
- 明るく元気にのびのびと成長して欲しい。
- 元気に成長してほしい
- 人の役に立つことを、自分の喜びと思える大人になって欲しいです。誰もやりたがらない、目を向けない、ことにこそ、目を向けて、助け、助けられ、自分ひとりでは何もやり遂げられないことに落ち込むのではなく、感謝できる大人になって欲しいです。
- 幼稚園ならではの、とても良い環境の中で大切な幼少期を過ごせると思っています。毎日のお仕事では自分がやりたいことを見つけて、最後まで成し遂げることが出来る達成感や完成したり、出来たを積み重ねる事での自信もつくと思います。縦割りクラスであるため、子ども達同士で学び、支え合い、思いやりや優しさの心を育み、充実した幼少期を過ごして成長してほしいと願っています。
- 周りが無駄に騒いでいても巻き込まれる事なく、落ち着きのある子供でいてほしいと思います。
- 幼いうちからいろんなことを出来るようになってほしい

- 「思いやり」「優しさ」を記述している保護者が多い。相手のことを考え、助け合いながら、自分も友達も大切にし、子どもがよい友達関係を築きながら、園生活を送って欲しいという強い願いが表れている。
- 自己肯定感、自分自身の成長の実感を高めていくには、「励ます」「認める」ことが欠かせません。園でも家庭でも、大人も子どもと同じ姿勢で同じ活動・行動をしていく中で、子どもと共感し感動することを大切にしていきたい。そして、その子なりの頑張りを認め、適時性のある励ましなど、子どもの日々の姿を温かく見つめ、成長の芽を発見し伸ばしていきたい。
- 他に挙げられているものも園で目指している方向と全てつながっている。保護者にも園で目指している方向が浸透していることが伺える。子どもたちの成長や変容を保護者に積極的に伝えていきたい。

#### 4 日頃お考えになっていることやご要望がありましたら、お書きください。

##### 《保育について》

- いつもあたたかく受け入れていただきありがとうございます。未満のときに他の園に通っていて、姉の通っていたこちらにするか前の園を継続するか悩みましたが、こちらに来てよかったなと思いました。縦割りでお兄さんにいろいろなことを教えてもらい毎日充実した日々を送っています。ありがとうございます。
- モンテッソーリ教育について、保護者が学ぶ機会が今後さらに増え、先生方から園での実際の取り組みを教えていただける場があると嬉しく思います。
- 英語の先生が来る日などがどの程度あるか私はまだわかりませんが、イメージ的に何か少なそうな感じがするので、もう少し英語と触れ合ったりする時間があったらいいのかなあとと思います。  
日々日々成長していく子供たちの寄り添って見ていただけていると思うので、引き続きその子の成長に合わせてやっていただければありがたいです。
- カトリックの幼稚園なので、キリスト教の行事や神様について知り、手を合わせて祈ることが身についていることも良いと思います。ちのせいぼだからこそその貴重な経験なので、数々の行事が大切に続いていくことを願っています。

##### 《教職員について》

- 先生やサポートが厚く感謝しかありません。
- 先生方には、日々よく子どもをみていただいて感謝申し上げます。先の回答に挙げたように、保護者もそうでありたいと思います。力及ばずなことも多々ありますが、親も子も成長できるよう家庭でも努力し続けたいと思います。
- 娘が楽しく生活できているのもひとえに先生方のご尽力のおかげとっております。本当にいつもありがとうございます。
- 日頃から子どもの様子を丁寧に伝えていただき、安心して通わせていただいています。ありがとうございます。
- いつも子供の事を一番に考えて、教育をしてくれている先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。
- 長い期間、ちのせいぼ幼稚園には大変お世話になりました。  
こんなにも長い期間、保護者として幼稚園と関わらせていただき、その中で先生方には本当に感謝しかありません。  
育児というものがわからない頃から、幼稚園は保護者の味方になってくださる存在でした。

それは長い間変わることなく、安心して子どもを送り出せる環境のありがたさを痛感しております。  
ありがとうございました。

- 娘は毎日のびのびと、楽しく通園する事が出来ました。先生方の関わりや、園の雰囲気良かったおかげだと思えます。働くお母さんが増えているので、入園児は減少していくかと思われませんが、これからもちのせいぼ幼稚園が継続していく事を願います。
- 先生方が子どもたちのために様々な工夫をして丁寧に関わってくださっていることに感謝しております。

#### 《アプリ「てのりの」について》

- 今年度は「てのりの」の配信が多く、子どもの園での様子がよくわかりよかったです。保護者の声がきちんと反映されているなど感じました。

#### 《安全対策について》

- いつも子どもたちのためにご尽力いただき本当にありがとうございます。  
園舎前駐車場に入る際、中から出てくる車が見えるようになると安全で有難いなあと思っています。(カーブミラーでは奥のほうの車は見えず…)簡易的な鏡等を設置していただくことは難しいでしょうか？

#### 《環境整備について》

- 草刈りなどをする日がどうしても土曜日になってしまっています。うちは土曜日は旦那さんが仕事があったりして預けることが難しく、そういう人のために普段預けている平日に草刈りができる人を集めてやる日を作っていただけるとすごくありがたいなと思います。

#### 《園運営について》

- 日々子ども達、また私達のことを大切に考えて下さっている園だと感じています。感謝の気持ちでいっぱいです。少子化ではありますが、この園だからこそ経験出来ること、強みが沢山あると思います。園の良さを沢山の方に知っていただけたら嬉しいです。

- 幼稚園と言うと、未満児さんを見てもらえと言うことを知らない人が多いと思うこととお弁当ではなく、給食を出していると言う事と夕方までの預かり保育があると言う事を知っている人はあまりいないのではないのでしょうか実際に私も未満児保育をやっている事は知りませんでした。

なので未満児保育をやっていることや、おいしい給食が出ること、そして預かり保育があることをもっとアピールしていったらどうでしょうか？

- 年少児の時は、初めての集団生活で不安な気持ちが大きかったです。先生方の支えもあり、沢山のご迷惑はおかけしたかと思いますが、何とか幼稚園生活に慣れることが出来て一安心しておりました。

せっかく慣れた幼稚園生活でしたが、年中になる時にはクラス替えがあり、入園してから初めて「楽しくない」というようなマイナスな発言が増えて、どうしたら良いかと悩みましたが、これも新たな成長になると、毎日の様子は傾聴してあげようと心がけ過ぎてきました。それでもやっぱり、時間は少しかかりましたが新しいクラスでも楽しくやれているようで、今ではその不安もなくなりました。茅野聖母幼稚園の素晴らしい教育環境と園長先生、先生方には日々、感謝しかありません。

今年度、初めて感じましたが、体調不良とのことで仕方がないことはわかりますが、やはり担任が途中で辞めてしまうこと。担任が途中で変わる事。それは親子共に心労は大きかったと感じています。また来年度にあるクラス編成についても、やっと慣れた幼稚園生活、年長である最後の一年と考えると正直なところ、また不安でいっぱいです。子ども達はもちろん、親の不安や相談できるサポート必要かと思えます。

- 先日の参観日後の学級編成の説明の中で、園児数の減少の話がありました。

少子化で仕方ないとは思いますが、今の時代に合った運営をしていく必要があると日頃から思っていま

す。

茅野市の場合はわからないのですが、恐らく子供は減少しているけども女性が働く数は増えているのではと。

20年前は収入が高い男性と結婚して専業主婦がステータスでした。

しかしここ数年は、パワーカップルと言われるように男性も女性も共に管理職、高収入という家庭が増えています。

女性が生活のためだけではなく、自分のために仕事を持ち働く。

しかし現状、預かり保育はあるものの、正直保護者会役員や平日に親が参加する園行事が多く、金融機関など休めない仕事を持っている女性は幼稚園に子供を通わせるのは難しいと思います。

働いていて本当は教育上幼稚園に通わせたい、しかし保育園に預けるしかない。

又は幼稚園に通わせるために働きたいけど現状では組織で正社員で働けず仕方なくパートや専業主婦の母親もいると思います。

難しいとは思いますが、ひとつの意見として参考にしていただければと思います。

- (来年クラス編成が変わるので心配なくなるかもしれませんが)、子どもがにじ組になって初めて気づいたのですが、給食室と接しているため水道や食洗機、道具の音などが結構響いているということです。子どもは集中してしまえば気にならないかもしれませんが、他のクラスの環境と比べたら少しかわいそうかな…と思いました。
- 先日、入園者が減少していると伺いましたが、もし、園に余裕があれば、3歳未満児の一時預かりをされてはいかがでしょうか。私も娘の時に利用しましたが、園庭など園の様子が知れてよかった覚えがあります。また、実施している園の数も定員も少なく、予約がなかなか取れなかった覚えもあります。需要はあるのではと思います。市ともお話をして

#### 《保護者会について》

- 今年度、保護者会役員としての活動を通して先生方の努力を見る機会があり、この幼稚園に入園する事ができて本当に良かったと感じました。  
ただ認定こども園なのに保護者会役員としての活動が大変だと感じる事がありました。(仕事を休まなければならぬ事が何度かあったり、家でも活動をしていました。)  
入園を検討している時に、保護者会活動の詳しい説明は無く、共働きや、シングルで子育てしている家庭、他色々な事情がある中でも保育園ではなく、認定こども園であるちのせいぼ幼稚園を選んだ家庭も多いとおもいます。  
保護者会活動は大事な事と感じていますが、役員をやりたいくない家庭がほとんどの時代なので、保護者会としての活動を見直す事はできないのでしょうか？
- 日頃よりお世話になり本当にありがとうございます。  
来年度のクラス編成について、園長先生よりお話がありましたが、来年度も今年度と同規模ではなく、園の規模に沿った保護者会の規模で良いのではないかと思います。  
人数が不足するとのお話から次年度Bからは各クラス2名のクラス役員を選出とのお話でしたが、係会の一つである卒園記念事業については、A学年しか対象ではないので(予算も)、Aのクラス役員の仕事として独立させ、係会から外すことで、人員不足を補えるのではないかと思います。

#### 《その他》

- 間もなく小学校に入学しますが、ふり返ってみますと、ちのせいぼ幼稚園で過ごせた事を、心より良かったと思います。

- 3年間、登園渋りは1度も無く、幼稚園が大好きで、毎日楽しくて、園での出来事をたくさん話してくれました。  
ひとりっ子なので、縦割りクラスの中で、兄弟がいるような環境で過ごせたのはよかったです。  
すわせいぼ幼稚園の交流で、みんなで上諏訪まで電車に乗るなどはなかなかできない、とてもいい経験になったと思う。

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。

「 5 今年度のまとめと今後の方向」に園としての考えを記述させていただきました。

### Ⅲ 学校評価委員様のご意見

#### 【園の教育について】

- 幼稚園でたくさんの行事や活動が行われて、子どもたちの体験が豊かである。小さいうちに色々体験させてあげたい。
- 季節を感じる行事が素晴らしい。昔からある季節の行事を取り入れてくれていて、ありがたい。  
小学校でも、そういった体験をしていかれるようにしていきたい。
- 子どもたちの素敵な姿が見られた。「年長さんってすごいな」と感心した。小学校でも今もっている力を発揮できるように取り組んでいきたい。
- 行事に対して、保護者も先生方もアンケートの評価が高い。子どもたちも先生方も達成感を味わっている。
- どの項目も高評価であり、驚いた。

- 子どもたちの聴く姿勢がとても良い。集中して話を聴く姿や少々抵抗のある課題にも楽しそうに取り組む姿に保育園との違いを感じた。
- 園の教育理念がしっかりとしている。社会の変化に対応しながら、子どもに必要なことに取り組んでいる。
- 練習の過程を「てのりの」で配信したことがすばらしい。結果もだが、過程が大事。本番に至るまで子どもが苦勞していく姿が大事。
- 「あいさつ」が昨年度よりも評価が上がっている。保護者会と共に力を入れた結果が表れている。よくやったと思う。
- 小さい頃の父親の子どもへの接し方がとても大事だと改めて感じている。最近は父親も行事に参加することが増え、良いことだと思う。

#### 【職員について】

- 先生方の熱意と子ども一人ひとりを大切にするという思いが伝わってくる。
- 先生方が子どもたちのために苦勞していることは、子どもたちにも伝わる。

#### 【保護者会について】

- 保護者会もPTAも難しい。時代の流れに合わせて考えていくことが大切。子どもたちのために楽しい活動ができたらいいなと思う。

#### 【その他】

- 保護者から沢山の意見があり驚いた。それだけ、保護者の園に対する思いが強いと感じた。
- 保護者が参加する園行事が多いという意見があった。入園前に保護者にしっかりと伝えると良い

と思う。保育園は働く保護者が多いから、幼稚園に比べて保護者が参加する行事は少ない。今は、子育ても仕事も大切。年間行事計画を見て、上手に休みをきちんととって保護者はやっている。

- 保護者からいただいた意見や要望を一つ一つ大切に回答も丁寧にされていて、誠意を感じた。
- 幼稚園のイメージが昔から敷居が高いと思っている人が多いのでは。決して敷居は高いわけではないので、ちのせいば幼稚園の良さが多くの人に伝わると良いと願っている。

温かなお言葉、ありがとうございました。本園の子どもたちの育っている姿や先生方の連携のよさを捉えていただき、嬉しく思います。ひとりひとりの子どもの願いや思いをしっかり受けとめ、保護者の皆様に寄り添い、子どもたちも先生方も笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思ひます。

## IV 今年度のまとめと今後の方向について（園より）

### 【園の教育方針・目標の理解について】

子どもに願う姿・子どものよい姿等に挙げられているものは、園で目指している方向と全てつながっていました。保護者にも園で目指している方向が浸透していることが伺えます。今後も子どもたちの成長や変容を保護者に積極的に伝えて参ります。

### 【園運営について】

園の運営について、ご心配いただき、また温かな建設的なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

認定子ども園となり、働く保護者が増えて参りました。「働くママも安心して子どもを預けられる」環境や体制を整えていかれるように、検討して参ります。

また、2歳児クラスは現在週2回 定員が5名です。人気があり満員で、希望しても入れないお子さんもいます。もっと増員したいところですが、部屋の広さ・保育教諭の数を考えると難しい状況です。また、2歳児クラスに通っていても、他の保育園に入園される方もいます。

子どもにとっても、保護者にとっても、魅力的な幼稚園にしていく必要があります。10年先を見据え、他園の運営についても学び、運営して参ります。

また、今年度は途中で担任が交代するということがあり、お子様にも保護者の皆様にもご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。何とか一年過ごせましたのも、保護者の皆様や職員のお陰だと感謝しています。ありがとうございました。

### 【職員の子どもとの関わりについて】

温かなお言葉ありがとうございました。

子どもをしっかり見て、ひとりひとりの子どもの願いや思いをしっかり受けとめ、保護者の皆様に寄り添い、子どもたちが笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思ひます。

### 【行事のあり方について】

園でもコロナ禍を経て、行事のあり方を職員で検討を重ね試行錯誤しながら実施して参りました。運動会、クリスマス会、遠足等、行事を通して、子どもたちの大きな成長が見られました。今後も、必要なも

の、不要なものを精査し、子どもたちの成長のために何を大切にするかを考え、子どもたち・保護者・保育者が共に満足できるようなものとなるよう創意工夫して参ります。

#### 【安全対策について】

「園舎前駐車場に入る際、中から出てくる車が見えるようになると安全で有難いなあと思っています。（カーブミラーでは奥のほうの車は見えず…）簡易的な鏡等を設置し」同様なご意見を数年前にもいただきました。警察署にも申し入れしましたが、一番良い位置を吟味しミラーを設置してあるとのことで、簡易的な鏡等の設置も許可がおりませんでした。

行事等の時には、職員が誘導に立ちますが、普段の登降園には保護者の皆様に気を付けていただくようお願いいたします。

#### 【地域との連携について】

地域に開かれた園を目指し取り組んできていますが、地域に根付いている公立の園と比べると活動は少なく感じられるかもしれません。私立の幼稚園であること、また多方面の地域から在園している園児が多い中で、どのような活動をすることが地域に開かれた園となるのかは、今後も引き続き考えていきたいと思えます。仲町区との皆様との交流（畑作り、焼き芋）、紙芝居・語りボランティアの方々との交流、また子育て支援には引き続き、積極的に取り組んで参ります。

#### 【保育内容について】

「英語と触れ合う時間がもう少し増えたら」というご意見をいただきました。子どもたちは外国人の先生と触れあいながら、英語あそびを楽しんでいます。アイコンタクトを大切にコミュニケーション力もついてきました。現在は外国人講師の都合もあり、これ以上時間を増やすことが困難でした。来年度に向けて、講師を派遣していただく会社に要望を伝えていきます。

#### 【幼保小連携について】

本園が比較的少人数であり縦割りクラス編成であるため、課題として同年齢の子どもとの関わりやコミュニケーション能力が挙げられていました。これからの社会を生き抜いていくためには、多

様な人と関わる力をつけていく必要があります。本園の子どもたちは少人数ながら、縦割り・横割りの活動の中でも友と関わりながら学ぶ素晴らしい姿が見られます。小学校入学に向けて、幼保小連携の中で、本園の子どもたちの具体的な良さ、卒園生が小学校でも生き生きと活躍している姿を積極的に保護者にも発信していくことができるよう努めて参ります。

#### 【保護者との連携について】

園日より「なかよし」、クラス日より、学年日より、パステル Apps、電話連絡、個人懇談等を利用し、出来得る限り努めております。今年度はホームページのトピックス、園庭入口の掲示版に写真等を掲載したり、アプリ「てのりの」を活用したりし、子どもの様子をお伝えするよう努めて参りました。しかし、預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか様子をお話できない現状があります。今後も、他園の取組を研究したり、お子様の園での様子を更にお伝えできるように努めて参ります。

保護者の皆様に安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、今後も相互理解が図れるようためにも、改善をしていきたいです。

#### 【保護者会について】

認定子ども園となり、働く保護者が増えて参りました。保護者からも負担軽減を望む声があがっています。

今回いただいた建設的なご意見を参考に、保護者会と共に、保護者の皆様のご意見を集約し、子どもたちにとって、また保護者にとって何が必要かを吟味し、検討して運営して参ります。

## 【施設管理等について】

園庭の改善については、10年以上前から懸案事項です。園庭整備の専門業者とも相談を重ねて参りました。芝生化するとぬかるみは解消できますが、整備に数千万円、維持管理費が年間数百万円と費用がかなりかかりることが明らかになりました。また、園舎建築後30年が経過し、大規模修繕をする時期となっています。長期的な園全体の修繕整備計画の中で、優先順位を考え検討してきました。

令和4年度はトイレとフェンス・門柱。令和5年度はLED化の工事、令和7年度は屋根と外壁の改修を実施しました。

今後も、教室や廊下等のクロスの張替え・ストーブの取替工事が必要です。国・県・市の補助金申請を検討しながら進めて参ります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

## 【その他】

今後も子どもたちや保護者の皆様に寄り添い、子どもたちが笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思っております。